

集落見聞録

(第41回)

ゆきのきだに 柚ノ木谷

柚ノ木谷集落の区長、西森道信さんにお話を伺いました。

西森さんたちが子どもの頃は、学校から帰ると兄弟の子守をしたり、現在の仁淀総合支所周辺(森)にある店で買い物をし、山道を荷物を負って帰ったりと様々な仕事を任されていたそうです。

昔は農業が主な産業で、どの家も楮・ミツマタや茶を栽培し、農耕用の牛を飼っていました。当時は冬になると約40センチ〜50センチほど積雪することがしばしばあり、冬の農作業は過酷だったそうです。



柚ノ木谷集落

柚ノ木谷と近隣集落の農家が生産・加工した楮・ミツマタは品質が良く、印刷局へ納入されたこともある

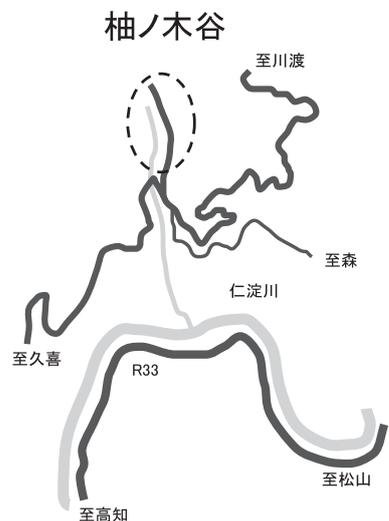


西森道信さん・マキ子さんご夫妻

ほど。繁忙期には夜なべをしてミツマタの皮をはぐほどの盛況ぶりでしたが、昭

柚ノ木谷は1月末現在、4世帯8人の集落です。仁淀総合支所から車で約30分、仁淀地区の東北端に位置します。

地名の起源は、集落の谷の近くにユズが繁茂していたことに由来するといわれています。集落の西方、字岡屋敷の上方に茂っていたユズの大木は、樹齢約400年余り、根元周りは1疋を超す立派なもので、たわわに実った実は「地名の由来を物語っているかのようなであった」と仁淀村史に記されています。



自然と共存する山あいの集落

和三十年ごろから次第に売れ行きが衰え、土木作業等の出稼ぎで生計を立てるなど、暮らしぶりは変わっていきました。

若いころの楽しみは、同じ年ごろの男女が森へ集まって、お酒を飲んだり話をする事だったそうです。

地区の行事は「柚ノ木谷神社」で春と秋に行われている神祭です。

耕作しなくなつた畑もだんだんと増えてきた柚ノ木谷。西森さんは「昭和三十年代には十世帯はあった。

人が少ないのは寂しいけど、状況を受け止め、近所で協力しながら穏やかに過

ごしていききたい」と語ってくれました。



柚ノ木谷神社

柚ノ木谷集落の氏神。時期は不明だが「黒大神宮」から「柚ノ木谷神社」に改称され、住民に親しまれ今も大切に祭られている。

夢膨らむ「わくわく宇宙教室」

教育研究所の取り組みの1つに「出前講座」があります。これは地域在住の専門的な知識を持つ方などに、小学生や中学生を対象にして授業をしていただくという企画事業です。

1月15日 大野敏光教育長を講師に迎え、池川小学校で「わくわく宇宙教室」を開催しました。4～6年生28人が集まり、宇宙の驚異について学びました。

内容は、太陽系の話やNASAと連携して取り組んでいる吾川木星電波観測所の話や、ひょうたん桜の宇宙旅行などについての話でした。

パソコンで星の動き方を説明したり、直径が30センチほどの反射望遠鏡で実演をしてくださいました。子どもたちは太陽の大きさや遠さに驚いたり、反射望遠鏡が自動で動く様子に興味津々でした。

また、子どもたちからは、ブラックホールや太陽系に関する多数の質問が出ましたが、その質問にも

分かりやすく丁寧に答えてくれました。

教育長の宇宙への思いが子どもたちに伝わったようで、話を聞いている子どもたちの目は夜空の星のように輝いていました。



大野敏光教育長(右)の説明に聴き入る児童ら

子どもの読書活動支援員便り

◇お知らせ◇

①中央公民館2階県立図書館コーナーに大活字本が仲間入りしました。

大活字本は、大型活字本、拡大図書とも呼ばれ、大きな活字で印刷された図書をいいます。

大きさ、行間、コントラスト等を考慮して作られていますので、従来の図書が読みづらいと感じられていた方は一度手にとってご覧ください。

※新書コーナー・読み聞かせコーナーも展示・貸出中です。(3月26日(金)まで)

②「高知県の中学生が贈る133冊」一覧を展示しています。

高知県内の中学生が選んだ、中学生に薦める本の一覧です。読みやすく、勇気や感動がたくさん詰まった本が揃っています。

◇おすすめ本の紹介◇

『おおきくなるっていうことは』

中川ひろたか・文 村上康成・絵
童心社 発行



この絵本は、大きくなり成長していくことを実感させる本です。お誕生日、卒園、進学の時など、子どもたちへの読み聞かせにとっても良い絵本です。

互いに成長の節目を感じてみませんか。

3月21日は春分の日です。身近な自然や生物に目を向け、想ったことを書き記してみるのも楽しいかもしれません。以下(2冊)おすすめ図書です。

『土佐の博物誌』(貸出不可)

高知新聞社・編集、発行

『日本の古典10 徒然草』(貸出可)

辻 真先・構成 羽馬かおり・作画
暁教育図書(株)発行



おかもと整体

広告

おかもと整体は従来の手技に気と熱のエネルギーを取り入れる事で、治療効果は想像を絶するものがあります。何時でもお電話待っています。

仁淀川町土居甲 1052 電話 34-2630

○受付…午前8時から午後4時まで
(正午から午後1時は休み)

○施術時間…50分

○料金…一律3,000円

○休み…日曜定休

○着装での施術となります

お知らせ コーナー

麻しん・風しん混合 予防接種について

麻しん・風しんの定期予防接種（2期、3期、4期）の期間は三月末までとなっています。四月以降は自己負担となりますので、対象となるお子様の保護者の方はご注意ください。

対象年齢（生年月日）

- ・2期 小学校就学前（平成15年4月2日～平成16年4月1日生）
- ・3期 中学1年生に相当する年齢（平成8年4月2日～平成9年4月1日生）
- ・4期 高校3年生に相当する年齢（平成3年4月2日～平成4年4月1日生）

臨時保育士・パート 保育士募集！（社協）

募集人員 若干名

資格 保育士有資格者（平成22年3月までに資格取得見込みの者を含む）

応募手続き 履歴書を提出

提出期限 3月15日（月）

採用試験 3月20日（土）
午後1時30分～
仁淀川町社会福祉協議会
2階

採用予定日 4月1日（木）

勤務先 大崎・名野川・ふたば・長者各保育所

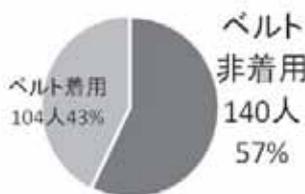
提出先・問い合わせ 〒781-11501
仁淀川町大崎214
基幹集落センター内
仁淀川町社会福祉協議会
事務局
☎35-0207

全席シートベルト着用徹底を！ 後部座席の着用率 本県が最下位

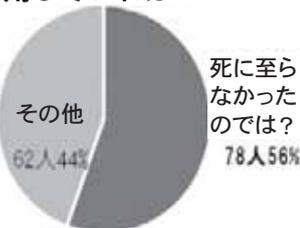
佐川警察署・交通安全協会佐川支部 ☎22-0110

昨年10月調査で、一般道路での後部座席シートベルト着用率が全国最下位という残念な結果となりました。 ※平成20年6月1日から後部座席シートベルトの着用が義務付けられています

交通事故死者（過去10年間）
244人のベルト着用内訳



ベルトをしていなかった140人中で
着用していれば？



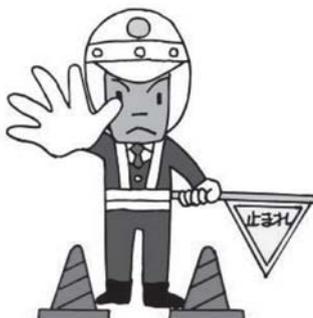
過去10年間に、県下で発生した四輪乗車中の交通事故死者244人のうち、シートベルト非着用者は140人（約57%）にも及び、このうち78人（約56%）は、着用していれば死亡に至らなかったのではないかとされています。

交通安全協会の取り組み

今後も『シートベルトを着用する習慣が命を守る』を標語として、警察をはじめとする関係機関・団体と連携を強化し、地域、家庭、職場において「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」を推進します。

年間を通じて実施する施策

- ①シートベルト非着用違反取り締まりの強化
- ②シートベルト着用促進キャンペーンの実施
- ③シートベルト着用率の調査
- ④関係機関・団体との連携強化
- ⑤民間企業との連携



※交通安全協会は皆様の会費で運営されています。ご協力よろしくお願いします。